

第4章 小中一貫教育推進事業モデル地区の実践例

鴻巣市	川里中学校 屈巢小学校・共和小学校・広田小学校
目指す児童生徒像	いきいきと主体的に活動する川里の子どもたち
重点目標	① 県学習状況調査の国語「A話すこと・聞くこと」「話す・聞く能力」「みんなの前で意見をはっきり言える」の数値を85%以上にする。 ② 中学校入学への不安解消や人間関係づくりを充実させ、不登校児童生徒数を0にする。 ③ 「小・中学校9年間を見通した課題となる教育課程の編成」を授業に生かす。 ④ 家庭・地域と連携を一層推進し、「川里の子どもたち10の約束」を基にした基本的な生活習慣や「家庭学習の仕方」を基にした家庭での学習習慣を身に付けさせる。

平成25年度 事業計画			
	重点目標との関連	主な取組	主な工夫・手立て
必須メニュー	「埼玉県小・中学校学習状況調査」結果や「教育に関する3つの達成目標」の検証結果の分析・活用	①② ・合同研修会、分科会 ・研究授業	・分析結果を検討し、改善の方策を立て、実践、検証する。
	9年間を見通したカリキュラムの編成	①③ 【編成する教科等】 ・国語 ・算数・数学 ・外国語活動・英語 ・体育・保健体育	・小・中学校教員の交流(授業参観・合同授業)や、様々なコミュニケーションの場を設定する。
	児童生徒の交流(合同行事、合同授業等)	② ・三小学校学年交流学習会(1～5年生) ・三小学校合同林間学校(5年生) ・中学校での三小学校6年生合同学習会 ・三小学校合同球技大会 ・小学6年生と中学生の合同授業 ・6年生部活動体験(一日体験入学)	・三校の児童が共に学習する機会をつくり、将来同じ中学校に入学する仲間との人間関係を築く力を高める。 ・6年生合同学習会では、中学校で小・中学校教員によるチームティーチングを実施し、6年生が抱く中学校入学前の不安を解消する。
	教職員の交流(合同研修、乗り入れ授業等)	①② ・合同研修会 ・開校記念日等を活用した異校種の授業参観	・合同研修会では、学力向上、生徒指導上の共通理解を深める。
	小学校高学年の一部教科担任制	①③ 〈共和小 週15時間〉 ・3・4・5年算数 ・3・4・5年理科 等 〈屈巢小 週14時間〉 ・2・3・5・6年算数 ・2年体育 等 〈広田小 週16時間〉 ・1・2・3年算数 ・2年体育 等	【期待できる効果】 ・児童一人一人のつまずきに対応でき、理解のはやい児童の力をさらに伸ばすことが可能となり、一人一人の思考力、判断力を伸ばすことが期待できる。 ・専科教員が他校と関わることで、幅広い視野をもって児童の指導にあたることできる。
選択メニュー	小・中学校教員のチームティーチング	① ・6年国語 週2時間 川里中→屈巢小、共和小、広田小	・個に応じたきめ細やかな指導により、学力の向上を図る。
	PTA等交流・共同活動	④ ・小中一貫教育推進連絡協議会	・保護者及び地域との連携を深め、小中一貫教育の協力体制を強化する。

注：上記の表は、平成25年度の取組計画
 必須メニューは全てのモデル地区で取り組むもの
 選択メニューはモデル地区がメニューから1つ以上選んで取り組むもの

